【資料第８号】

June 23, 2016
勉強会＠文京区

文京区
オープンデータ化の推進

「品質本位の区政運営」を「見える化」する

首都大学東京 大学院 社会科学研究科 教授
大杉　覚　博士（学術） OHSUGI, Satoru Ph.D.
stohsugi@gmail.com　/　http://satoru4789.wordpress.com/

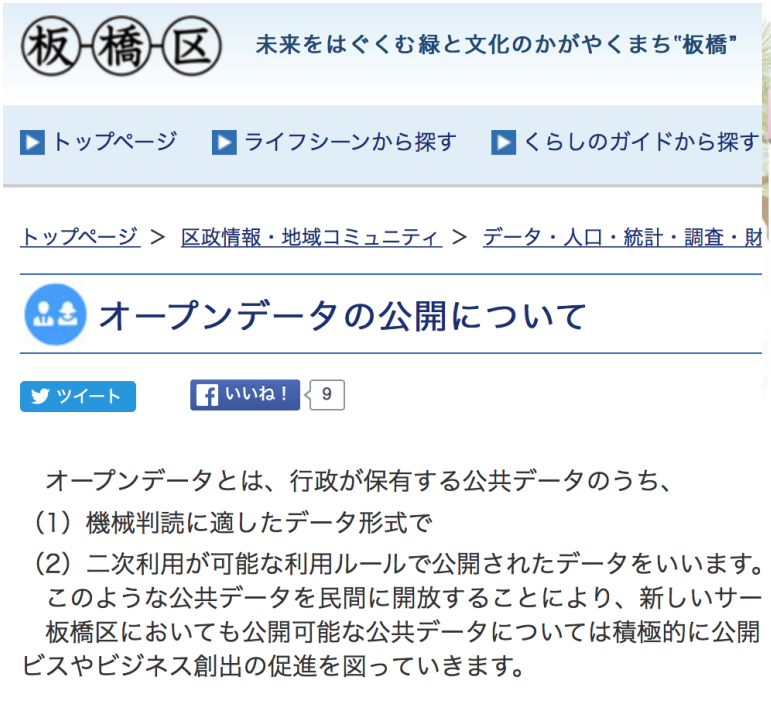
オープンデータ化とは？

- 行政などが保有する公共データを誰もが二次利用できる形式で公開することをオープンデータ化という。

政府データカタログサイトhttp://www.data.go.jp

行政のスタンダードとして

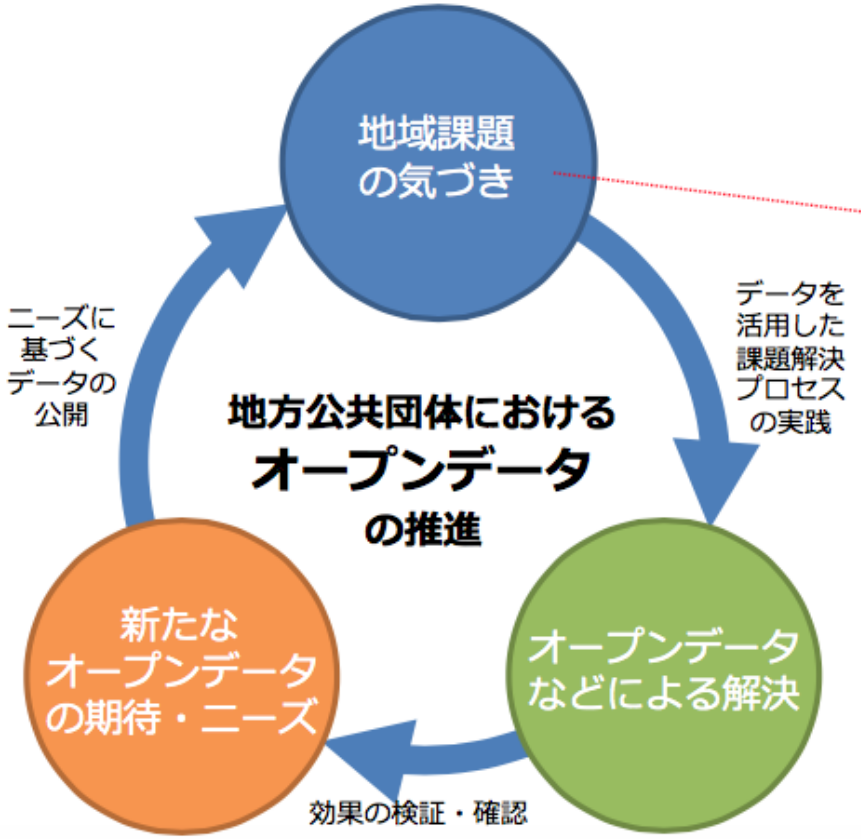
- 先進国に続き、国、自治体でもオープンデータ化が急速に普及。
- 都内でも主要な区市ですでに始めている。

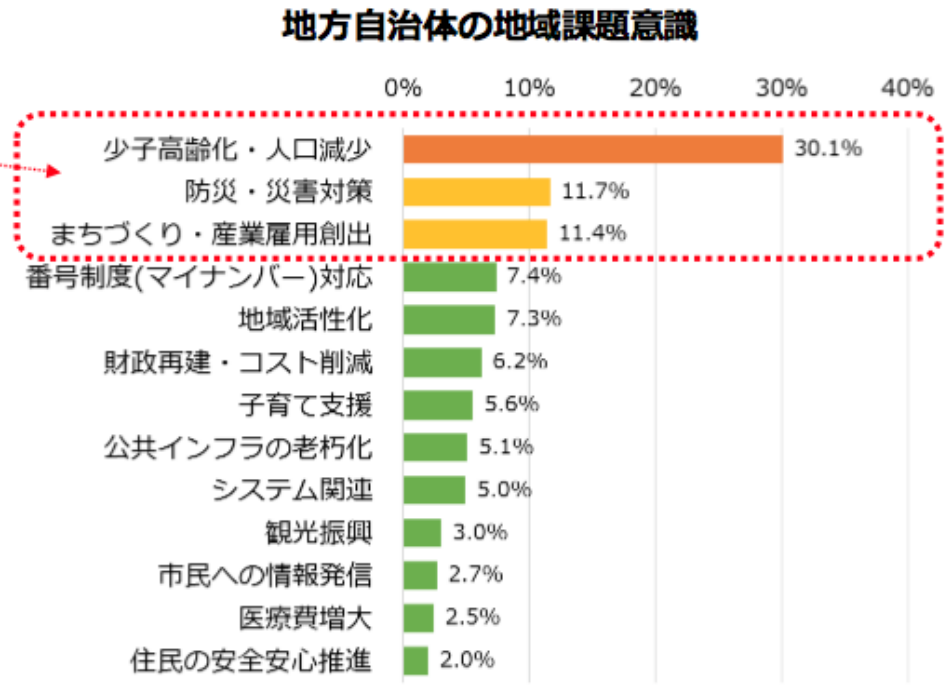


0-3 地方公共団体のオープンデータ推進における視点

気づきと課題解決の連続による、スパイラルアップを目指す。

地方公共団体におけるオープンデータ推進においては、
地域課題を代表的オープンデータで解決し、そこでの気づきを活用して
新たなオープンデータに拡大していくスパイラルアップを意識し、これを加速させるための施策を検討する。





出展）全国自治体へのアンケートからテキストマイニングでリスト化（2014年11月、IT室）

▲ナイトストリートアドバイザー

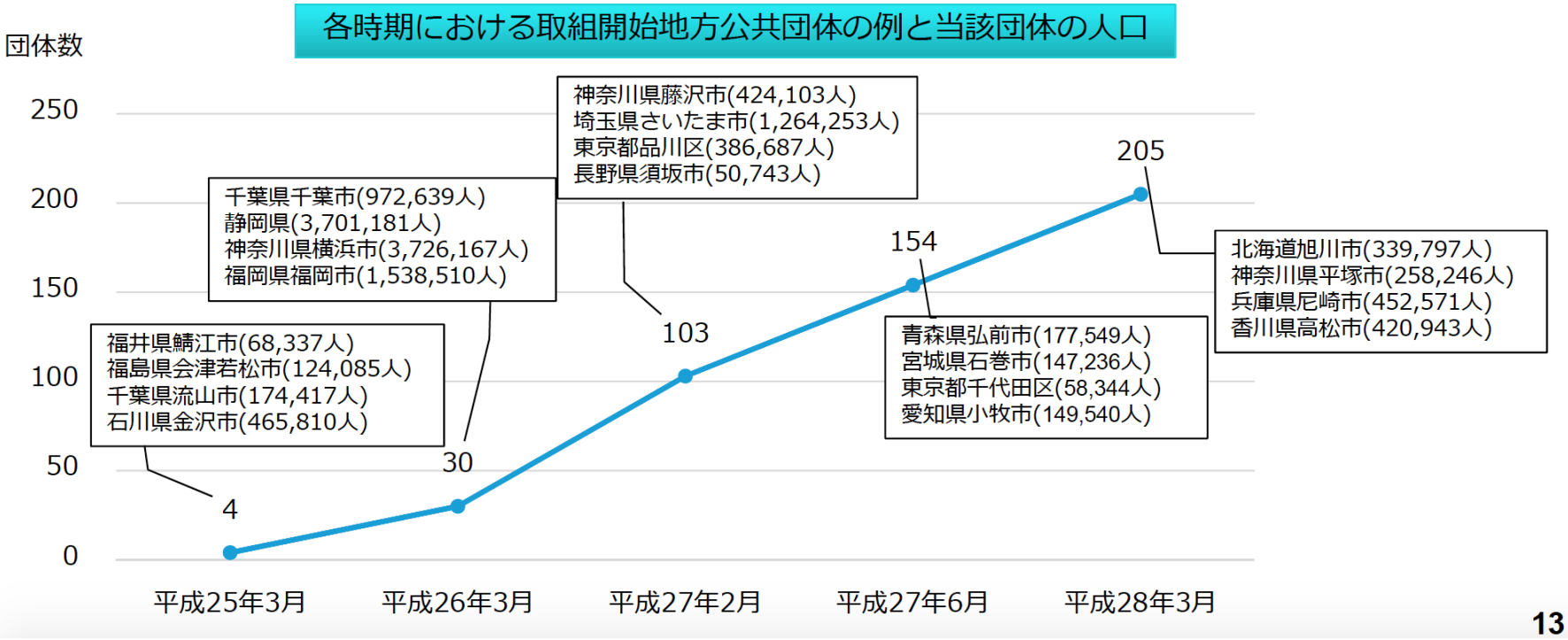
▶介護事業所情報アプリ

▲保育所マップアプリ

（参考）オープンデータに取り組む地方公共団体の推移（内閣官房IT総合戦略室調べ）

確認時期	取組済み団体数	取組済み基礎自治体の合計人口	備考
平成25年3月	4	832,649	
平成26年3月	30	13,707,356	
平成27年2月	103	28,630,967	「地方公共団体オープンデータガイドライン」公表
平成27年6月	154	37,607,306	「新たなオープンデータの展開に向けて」公表
平成28年3月	205	50,859,261	

※47都道府県、1741市区町村、計1788団体を対象。上記の取組済み基礎自治体の合計人口に都道府県は含まない



実は文京区でも･･･品質志向の区政運営：３つの視点

● 「３つの視点」（文京区資料）

① 行政評価を「区民サービスの改善」と「人材育成・組織開発」の機会と捉える

② 職員や区民が「政策・施策」や「事務事業」を多角的に分析・評価できる環境を整える

③ 改革志向の組織風土を醸成し、業務の効率化や職員一人ひとりの働き方の見直しを推進する

●取組みの主眼

① 研修のための研修ではない、人材育成・組織開発での当事者意識をもった実践的なコミットメント

② オープンデータ化の推進により、根拠づけられた、実効性ある取組みと成果の獲得

③ WLBマネジメントの推進による、業務・組織活動の再構築と無駄の徹底排除

計画づくりから評価まで

- 今回の区民協議会での計画づくりから評価までのプロセスで活用する主要な指標や統計データをオープンデータ化し、区政の取組みを「見える化」することを目標とする。
- まずは、計画づくりの段階で、適切な指標を選ぶことで、どれだけ計画が進捗しているかを「見える化」できるようにする。
- 評価に必要な財政データなど基礎的なデータもまずオープンデータ化する。

オープンデータ化の担い手は…

どのようなデータが必要か？	どのようにデータを収集するか？	どのようにデータを公開するか？	どのようにデータを利活用するか？
基本構想推進区民協議会での提案・発議	すでに行政内にあるデータの活用	＊文京区オープンデータ規約（仮称）に基づき、 ＊活用すべきデータを選定し、 ＊ホームページ上のデータカタログサイトに ＊機械判読可能な形式で公開する	基本構想推進区民協議会で計画づくり、評価・検証に役立てる
職員・部署からの提案・発議	新規に統計・調査によりデータの取得		職員・部署が業務に役立てる
一般区民からの提案・発議	民間保有データの取得		区民・事業者などがアプリ開発などビジネスや地域課題解決に役立てる
すでにHPで公開されているデータ			

文京区のアドバンテージ

- 区政・地域課題に関心を持つ区民が多い。
- ITに強い区民や事業者が非常に多い。
- ITに強く、アプリ開発に強い関心を持つ学生や研究者が多い。
- 区民はもちろん、国内外の観光客を当て込んだ需要も考えられる。
- 行政はオープンデータ化の環境整備に注力し、まずは、規約策定や公開のスケジュールを速やかに確定する。

「品質本位の区政運営」を実現するには、オープンデータ化による「見える化」が必須！

0

June 23, 2016
勉強会@文京区

文京区
オープンデータ化の推進

「品質本位の区政運営」を「見える化」する

首都大学東京 大学院 社会科学研究科 教授
大杉　覚　博士（学術）　OHSUGI, Satoru Ph.D.
stohsugi@gmail.com / http://satoru4789.wordpress.com/

1

オープンデータ化とは？

- 行政などが保有する公共データを誰もが二次利用できる形式で公開することをオープンデータ化という。

政府データカタログサイトhttp://www.data.go.jp

2

行政のスタンダードとして

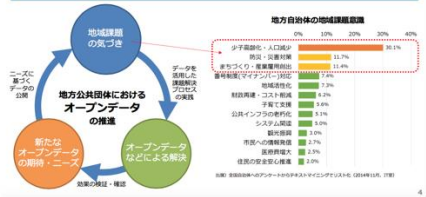
- 先進国に続き、国、自治体でもオープンデータ化が急速に普及。
- 都内でも主要な区市ですでに始めている。

3

0-3 地方公共団体のオープンデータ推進における視点

気づきと課題解決の連続による、スパイラルアップを目指す。

地方公共団体におけるオープンデータ推進においては、
地域課題を代表的なオープンデータで解決し、そこでの気づきを活用して
新たなオープンデータに拡大していくスパイラルアップを意識し、これを加速させるための施策を検討する。



4

5

（参考）オープンデータに取り組む地方公共団体の推移（内閣官房IT総合戦略室調べ）

確認時期	取組済み団体数	取組済み基礎自治体の合計人口	備考
平成25年3月	4	832,649	
平成26年3月	30	13,707,356	
平成27年2月	103	28,630,967	「地方公共団体オープンデータガイドライン」公表
平成27年6月	154	37,607,306	「新たなオープンデータの展開に向けて」公表
平成28年3月	205	50,859,261	

※47都道府県、1741市区町村、計1786団体を対象。上記の取組済み基礎自治体の合計人口に都道府県は含まない

6

実は文京区でも…品質志向の区政運営：3つの視点

- 「3つの視点」（文京区資料）
  1. 行政評価を「区民サービスの改善」と「人材育成・組織開発」の機会と捉える
  2. 職員や区民が「政策・施策」や「事務事業」を多角的に分析・評価できる環境を整える
  3. 改革志向の組織風土を醸成し、業務の効率化や職員一人ひとりの働き方の見直しを推進する

- 取組みの主眼
  1. 研修のための研修ではない、人材育成・組織開発での当事者意識をもった実践的なコミットメント
  2. オープンデータ化の推進により、根拠づけられた、実効性ある取組みと成果の獲得
  3. WLBマネジメントの推進による、業務・組織活動の再構築と無駄の徹底排除

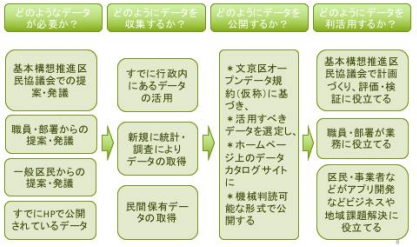
7

計画づくりから評価まで

- 今回の区民協議会での計画づくりから評価までのプロセスで活用する主要な指標や統計データをオープンデータ化し、区政の取組みを「見える化」することを目標とする。
- まずは、計画づくりの段階で、適切な指標を選ぶことで、どれだけ計画が進捗しているかを「見える化」できるようにする。
- 評価に必要な財政データなど基礎的なデータもまずオープンデータ化する。

8

オープンデータ化の担い手は…



9

文京区のアドバンテージ

- 区政・地域課題に関心を持つ区民が多い。
- ITに強い区民や事業者が非常に多い。
- ITに強く、アプリ開発に強い関心を持つ学生や研究者が多い。
- 区民はもちろん、国内外の観光客を当て込んだ需要も考えられる。
- 行政はオープンデータ化の環境整備に注力し、まずは、規約策定や公開のスケジュールを速やかに確定する。